

ご挨拶

この度は、2660地区第1組の「ロータリーデー」のホストクラブを務めさせて頂きます。「インスピレーションになろう」というRI会長のテーマを実践できるように準備してまいりました。2019年は我が国で「ラグビーワールドカップ」が開催されます。「ラグビーは少年をいち早く大人にし、大人にいつまでも少年の心を抱かせる」(ジャン・ピエール・リーブ:ラグビー・フランス代表元主将)の言葉にあるとおり、スポーツには、青少年の心と感動をはぐみ、お互いを尊重し、人間性をゆたかにしてくれる大きな教育的要素が含まれています。時には、簡単に答えが出ない問いを選手や観客にも与えてくれます、自分は・・・と考えさせ、成長させてくれます。品位、情熱、結束、規律、尊重が「ラグビー憲章」としてありますが、ラグビー界で数々の栄光を担ってこられたパネリストの方々にラグビーから体得されたご自身の学びや人生の感動を大いに語っていただきたいと思ひます。ロータリアン一人ひとりの青少年育成への熱き想いと「インスピレーション」を子供たちに贈りたいと思ひます。



大阪大淀ロータリークラブ
会長

村岡 正啓

Program

12:00	受付開始 司会：島田 大 大阪大淀RC
12:30	開場
13:30-14:00	開会式 開会点鐘 山本 博史 RI第2660地区ガバナー 国歌斉唱・ロータリーソング斉唱 開会の辞 長谷川 眞哲 大阪大淀RC・ソングリーダー 来賓紹介 細水 總夫 ロータリーデー実行委員長 歓迎の辞 村岡 正啓 大阪大淀RC 会長 主宰者挨拶 山本 博史 RI第2660地区ガバナー 参加クラブ紹介 細水 總夫 ロータリーデー実行委員長 出席報告 加登 隆三 大阪大淀RC・SAA
14:00-15:00	基調講演 テーマ「感性を研ぎ澄ませ！ 楽しく！ 苦しく！ 美しく！」 講師：林 敏之 NPO法人ヒーローズ会長 感動人生プロデューサー
15:00-15:15	休憩
15:15-16:15	シンポジウム テーマ「繋ごう未来への感動を！ ノーサイドのあとに」 パネリスト：坂田 好弘 日本ラグビーフットボール協会 副会長 関西ラグビーフットボール協会 会長 林 敏之 NPO法人ヒーローズ会長 感動人生プロデューサー 大東 和美 日本スポーツ振興センター 理事長 五郎丸 歩 ヤマハ発動機ジュビロ ファシリテーター：村上 晃一 ラグビージャーナリスト
16:15-16:25	閉会式 講評 青山 快玄 IM第1組ガバナー補佐 次年度ホストクラブ紹介 加登 敏夫 大阪北梅田RC 会長 閉会の辞 細水 總夫 ロータリーデー実行委員長 閉会点鐘 山本 博史 RI第2660地区ガバナー

基調講演

「感性を研ぎ澄ませ！ 楽しく！ 苦しく！ 美しく！」

今から45年前、徳島県の河川敷のグラウンドを走ってラグビーに出逢いました。その河川敷のグラウンドは、花園や秩父宮ラグビー場だけではなく、カーディフやマレフィールド、ティッケナムと言う世界のグラウンドと繋がっていました。ラグビーを通じて人に出逢い、夢やあこがれに出逢い、様々な価値ある体験をし、止めどもなく涙が湧き上がる感動を体験しました。涙があふれた時、私は紛れもなく私であり、人間として最高に素晴らしい真実の瞬間があったのではないかと思います。感動が心を揺さぶり、心を揺さぶる事が私の感性を育ててくれたのではないかと思います。現役を引退し、体験した感動を伝えられたらと思ひ、教育の道を志し、感性教育をテーマに活動してきました。しばらくしてNPO法人ヒーローズを立ち上げ、ラグビー寺子屋を各地で行い、小学生のラグビー大会ヒーローズカップを開催してきました。ラグビーとは漢字で楽苦美と書きます。楽しく 苦しく 美しくと読んでほしいです。試合は楽しい、しかし練習は苦しい、その苦しさを乗り越えてこそ美しいトライが生まれる、美しい友情が生まれる。人生もまた同じだと思います。楽しいことだけでなく、苦しい事、辛いこと、悲しい事、悔しい事があるからこそ、それを乗り越えて人は美しく生きるのです。人生の様々なことに向き合った時に涙と共に感性の奥から湧き上がるものが生まれます。その時に素敵に自分と出逢えるのです。感動して鮮やかに生きる、たくさんの感動人生のヒーロー達が生まれたいなと思ひます。

シンポジウム

「繋ごう未来への感動を！ ノーサイドのあとに」



パネリスト 坂田 好弘

1942年生まれ。洛北高校から同志社大学。63年、全日本のメンバーに初選出。68年、全日本のニュージールランド遠征メンバーに選ばれ、「世界のサカタ:FLYING WING SAKATA(空飛ぶウイング・サカタ)」として名を轟かせ、ニュージールランドの「プレイヤーズ・オブ・ザ・イヤー」にも輝く。2012年には国際ラグビーボードは1960年代の世界で最も優れた選手の一人で、今日に至るまで日本で最高の選手としてラグビー殿堂(IRB Hall of Fame)入りを決めた。世界で51人目、日本人初の殿堂入り。大阪体育大学教授を経て現在に至る。



パネリスト 大東 和美

1948年生まれ。神戸市出身。報徳学園高校から早稲田大学。70年には主将として大学選手権で優勝、新日鉄釜石に勝利して日本選手権も制覇。その後日本代表としてニュージールランド遠征・イギリス・フランス遠征、アジア大会等にフッカーで出場。76年、早稲田大学ラグビー部監督、大学選手権で優勝等。2006年、(株)鹿島アントラーズFC 社長。10年、(社)日本プロサッカーリーグ チェアマン。14年リーグメディアプロモーション 会長。15年、(独立)日本スポーツ振興センター 理事長に就任。座右の銘は「一期一会」。



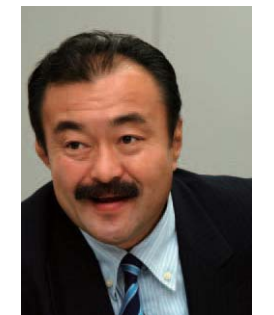
パネリスト 五郎丸 歩

1986年生まれ。福岡市出身。佐賀工業高校から早稲田大学。2010年9月対NEC戦でトップリーグ新記録となる「1試合8PG」を記録。12-13シーズンは、得点王。14-15はベストフイフティーンを受賞。15-16は5年連続5回目のベストフイフティーン、83得点で3度目の得点王。得点記録は、1006点日本代表のテストマッチ個人得点記録も史上最多を更新中。16年2月オーストラリアクイーンズランド・レッズを経て、同年8月より世界最高峰のフランスTOP14に日本人初のRCトゥーロンにてプレー。シーズン終了に伴い、再びヤマハ発動機ジュビロに所属。



ファシリテーター 村上 晃一

1965年生まれ。鴨沂高校から大阪体育大学。大学時代には副将を務めて、86年東西学生対抗試合に出場。卒業後、ベースボール・マガジン社に入社して「ラグビーマガジン」編集部勤務。90年、同誌編集長に就任。98年、ベースボール・マガジン社退社。同年より「SPORTS」でラグビー解説を務める傍ら、フリーランスの編集者、記者として活動。99年-2015年のラグビーワールドカップでは現地でコメントーターを務める。2003年、有限会社オフィス・フルバックの代表取締役役に就任。



講師・パネリスト

林 敏之

1960年徳島に生まれラグビーに出会う。日本代表を13年間務め、神戸製鋼では7連覇を達成。同志社大学、神戸製鋼、日本代表でキャプテンを務めた。第1回W杯キャプテン。オックスフォードに留学しパーシティーマッチに出場、ブルーの称号を得る。オックスフォード歴代ベスト15にも選ばれた。パーバリアンズでもプレー。感性教育をテーマに感動人生プロデューサーとして活動中。NPO法人ヒーローズ会長。各地でラグビー寺子屋を開催し、小学生のラグビー大会ヒーローズカップを主催している。